

2025年デフリンピック開催！デフサッカー選手訪問

2025年に初の日本開催が決まった、耳がきこえない（デフ）人のためのオリンピック＝デフリンピック東京大会。その日本代表候補であるデフサッカーの選手3名が武蔵野市立境南小学校を訪問。

まずは、ことばを使わずに伝言していくジェスチャーゲーム。「きりん」を伝えたつもりが……あれれ？最後はなぜか「鳥」になっちゃった！？

次に、カラーコーンを的に、ボールを蹴って当てるサッカー体験。3本のうちのどのカラーコーンに当てるか、「○」「△」「□」の手話でサインが送られてきます。

最後は、選手と一緒にミニゲーム！狭いコートでも、たくさんの児童をすり抜けてあっという間にゴールを決めちゃう選手に思わず歓声があがりました。

質問コーナーでは、児童の発言が自動的にテキスト化されるユニバーサルコミュニケーションの技術も使用。テクノロジーによる新しい対話のかたちを実現していました。



- ・ジェスチャーとサッカーを合わせたら難しかった。手を挙げたり、もっと体で表現したらうまく楽しくサッカーができると思った。
- ・デフリンピックを初めて知った。2025年の東京大会でデフサッカーの生の選手たちを見てみたい。生で観戦して、応援して、盛り上がりたい！